

- 再生可能エネルギーの活用：創エネ
- 建物の省エネルギーの徹底：省エネ
- 森林整備・保全によるCO₂吸収：固定

三重大学 キャンパスのカーボンニュートラル (キャンパス緑花・タイサンボク編)

知っていますか？

上浜キャンパスでは、タイサンボクの花が間近に鑑賞できます。



■ キャンパス緑花

人と自然の調和・共生をめざし、地域に根差した緑あふれる環境先進大学としての**キャンパスづくりを推進**しています。

1

■ タイサンボクの来歴

タイサンボクは北米原産のモクレン科の常緑高木です。日本でも明治時代から栽培されており、教育学部校舎一号館北の2本は、1969（昭和44）年に教育学部の移転に伴い、当時の丸の内キャンパス（現、津市役所の位置）から移植されたものです。移植した当時には樹高3mでしたが、今では大きく成長し、光沢のあるつやつやとした葉が木陰を作っています。

6月ごろから、直径20cm以上もあるクリーム色の花が開花し、甘い香りがします。上浜キャンパスでは低い位置にも花がついていますので、間近でも鑑賞できることが特徴です。



※写真上の番号は、タイサンボクの木
の位置



三重大学マスコットキャラクター
ミールド

[2050カーボンニュートラルに向けた取組計画](#)

国立大学法人 三重大学
地球環境センター
施設部 2024年11月

